

平成27年度 学校自己診断アンケート

生徒アンケート(第2学年)

《結果》A よく当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D まったく当てはまらない
(☆ 上位項目 ★ 下位項目)

	項目	A+B	C+D
1	学校に行くのが楽しい	☆87	13
2	自分の学級は楽しい	85	15
3	先生は生徒の意見を聞いてくれる	81	19
4	授業は分かりやすく楽しい	79	21
5	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある	76	24
6	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい	72	28
7	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる	76	24
8	評価の仕方や基準について、事前に示されている	☆97	3
9	通知表の学習成績のつけ方は納得できる	☆88	12
10	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	★68	32
11	先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応している	79	21
12	担任の先生以外にも保健室や相談室などで、気軽に相談することができる先生	★65	35
13	学校では生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている	86	14
14	将来の進路や生き方について考える機会がある	74	26
15	学校は、進路についての情報を知らせてくれる	★60	40
16	学校は奨学金制度についての情報を知らせてくれる	★38	62
17	行事は楽しく行えるように工夫されている	83	17
18	生徒会活動は活発である	87	13
19	部活動に積極的に取り組んでいる	83	17
20	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	☆94	6
21	人権について学ぶ機会がある	83	17
22	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされ	86	14
23	授業などでコンピュータを活用している	85	15
24	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	76	24
25	環境、国際理解、福祉ボランティアなどについて学習する機会がある	☆87	13

《概要》

- 学校に行くのが楽しいと感じている生徒が多い。
- 命の尊さを学ぶ機会が多くあった。
- 奨学金についてや進路についての情報が少なかった。
- 32%の生徒が親身になって相談にのってくれる先生が多いとは思わないと感じてい

《今後の取り組み》

- 行事や学校生活の中でもっと教師が生徒に寄り添う時間をもつように努めます。
- 進路や奨学金制度についての情報をもっと提供するように努めます。
- 授業では質問しやすい雰囲気づくりにも気をつけるよう努めます。

平成27年度 学校自己診断アンケート - 成果と課題分析 -
保護者アンケート(第2学年)

結果≫Aよく当てはまる Bやや当てはまる Cまったく当てはまる Dまったく当てはまらない
(☆上位項目 ★ 下位項目)

	項目	A+B	C+D
1	こどもは学校に行くのを楽しみにしている。	☆88	12
2	こどもは自分の学級が楽しいと言っている。	87	13
3	先生は子どもを理解している。	76	24
4	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	65	35
5	学校は保護者・地域の願いに応えている。	76	24
6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	★51	49
7	学習内容や進度等を、懇談や学級(学年)通信などによって知ることができる。	62	38
8	先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。	79	21
9	学校は、保護者の相談に応じてくれる。	83	17
10	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	81	19
11	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	71	29
12	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	★56	44
13	進路指導面で、学校は家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	★47	53
14	文化祭や体育大会・宿泊行事などの学校行事は、積極的に参加できるように工夫されている。	86	14
15	生徒会活動は活発である。	80	20
16	この学校の部活動は活発である。	82	18
17	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ツールを守る態度を育成しようとして	☆89	11
18	学校は発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	80	20
19	学校は、環境、国際理解、福祉ボランティア等の現代的課題について、子どもに学ばせている。	81	19
20	先生はすべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたって	80	20
21	地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	☆91	9
22	学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を設けている。	☆94	6
23	学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	80	20
24	学校では子どもに関する個人情報を守られている。	☆92	8
25	PTA活動には参加しやすい。	★67	33

《概要》

- 子どもが学校に行くのを楽しみにしている保護者が多い。
- 学校の子供達の様子は、学年便り、学級だより等でお知らせしているが
 - 分かりやすい授業の創造では、改善を望む保護者は多い。
 - PTA活動に参加しやすいとは言い難い。
- 生命の大切さや社会規範を守ることは、子どもに伝わっていると感じている保護者が多い
 - 授業を参観する機会が十分であると感じている保護者が多い。
 - 進路についての情報が不十分と感じている保護者が多い。
 - 災害マニュアルが十分に伝わっている。

《今後の取り組み》

- 授業改善を行い、魅力的で確かな学力の定着に向けた授業作りをしていきます。
- 学校便り・学年便り・ホームページなどを通して、
- 進路決定に向け、さらにきめ細かい情報提供やアドバイスに努め、
保護者とのコミュニケーションを密にとり丁寧な対応を心がけていきま
- PTA活動に参加しやすいような開かれた学校づくりに努めたいと思います。